

令和5年度不登校対策の取組



令和5年度の取組

◆未然防止

【魅力ある学校づくり】

- わかる授業づくり
- 心の居場所づくり
- 多様な絆づくり
- 「きもちメーター」の活用
- 小中一貫教育による教育活動の一貫性と系統性

◆初期対応

【早期発見・早期対応】

- 新規不登校の抑制に向けた取組強化
 - ・「兆し情報」収集
 - ・組織的な支援体制構築
 - ・校務支援システム活用（朝の登校・健康確認）
 - ・特別支援コーディネーターを中心としたSC, SSWとの連携
 - ・校内支援会の充実

◆自立支援

【多様な学びの場の保障】

- 校内サポートルームの活用
 - ・ICT学習支援
 - ・学びの場・学び方の多様性による支援
- 教育支援センターの活用
 - ・個に応じた学習支援
 - ・安心できる居場所の提供
 - ・学校、家庭との連携
 - ・学校への復帰サポート

◆個別支援

【自立支援の取組】

- 専門機関と連携した支援
 - ・医療、福祉等との連携
 - ・アセスメントに基づく児童生徒理解と支援



令和5年度の目標

- 不登校児童生徒数 35人以下（昨年度41人）
- 新規不登校児童生徒数 5人以下（昨年度20人）

令和5年度の取組

◆初期対応【早期発見・早期対応】

○新規不登校の抑制に向けた取組強化

★香美市不登校児童生徒支援マニュアル

- ・「兆し情報」収集
(子どもに見られるサインを見逃さない)
- ・校務支援システムの活用 (朝の登校・健康確認)
- ・組織的な支援体制構築

特別支援コーディネーターを中心としたSC, SSWとの連携

- ・校内支援会の充実
- ・サポートシートの作成

1学期10日以上、2学期20日以上、3学期30日以上の欠席者について作成

香美市不登校児童生徒支援
マニュアル



香美市教育委員会

令和5年4月

香美市版 長欠・不登校の段階

段 階	児童生徒の様子	考えられる状況・課題	支援・手立て（アセスメント）	関わる 機関	児童・ 生徒名	
第1 段階	不登校開始期	学校へ行こうとするが、身体がうまくついてこないなど	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ ○学習面の遅れ・発達障害・起立性調節障害等 ○人間関係（友だち・教師・部活・家族） ○ネグレクト ○養育不全 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、保護者の話を聞く ・家庭訪問、連絡 ・校内での共通理解 ・相談窓口 ・別室（落ち着ける場所）の確保 ・今必要な時間を過ごしているという安心感 	SC SSW	
第2 段階	悩み苦しむ時期	イライラしたり感情的になったりする	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺企図・自殺念慮（リストカット・オーバードーズ・階上からの飛び降り） ○家出 ○家庭内暴力・暴言 ○ゲーム・ネット依存 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や保護者の状況理解のための面談やケース会（保護者もサポート） ・アセスメントによる本人、保護者、家庭状況等の把握、整理 ・専門機関へとつないでいく 	SC SSW 保健師 福祉 事務所 医療 機関	
第3 段階	エネルギー補充期	1日中寝て過ごしたり、部屋にこもったりする 無気力	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれんどるーむやスマイルルームの活用を始める。 ○放課後登校等ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴 ・本人が構わなければ一緒に過ごす ・本人との趣味等の共有 	SC SSW 保健師 福祉 事務所 医療 機関	
第4 段階	エネルギー再活性化期	やりたいことならできるのめりこむ 昼夜逆転（生活リズムに注意）	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれんどるーむやスマイルルームの活用を始める。 ○放課後登校等ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室以外の登校場所の確保 ・放課後登校含め、本人のリズムに合わせた登校、来所 ・行事予定や授業予定を知らせる 	SC SSW	
第5 段階	再活動希望期	新しいことにチャレンジしてみようとする できなかったことに再チャレンジしようとする	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用して学校とつながろうとする。 ○ふれんどるーむを利用して学校にチャレンジ登校を始める。 ○部活動に参加しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校支援 ・スケジュールの確認（提案・選択肢→自己決定） ・学び方スタイルの提案 ・行事等参加方法の提案、選択 ・給食、特定の教科、部活等への参加の声掛け 	SC SSW	
第6 段階	リハビリ(不安定活動)期	学校などに休み休み、通い始める	<ul style="list-style-type: none"> ○自分に合った学びの場・学び方・学びのペースを選択し、学習できるようになる。 ○進路に向けた志を持ち、学び続けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した個別最適な学び（アプリ、学習ソフト等） ・ICTの活用した集団参加（オンラインでの授業視聴・参加、グループでのやり取り等） ・仲間とつなげる ・スケジュール調整 ・自己理解 ・目標、やりたいことを決める ・可能な範囲での役割分担 	SC SSW	
第7 段階	登校(安定活動)期	安定して登校、来所できる				

鏡野中学校サポートルームの取組



個の学びのスペース

集団の学びのスペース



時間割等の掲示物

★サポートルームに登校すると、時間割等を参考にしながら
まず自分の今日のスケジュールを決める

鏡野中学校サポートルームの取組



個人ブースでの自主学習



教科担当による授業

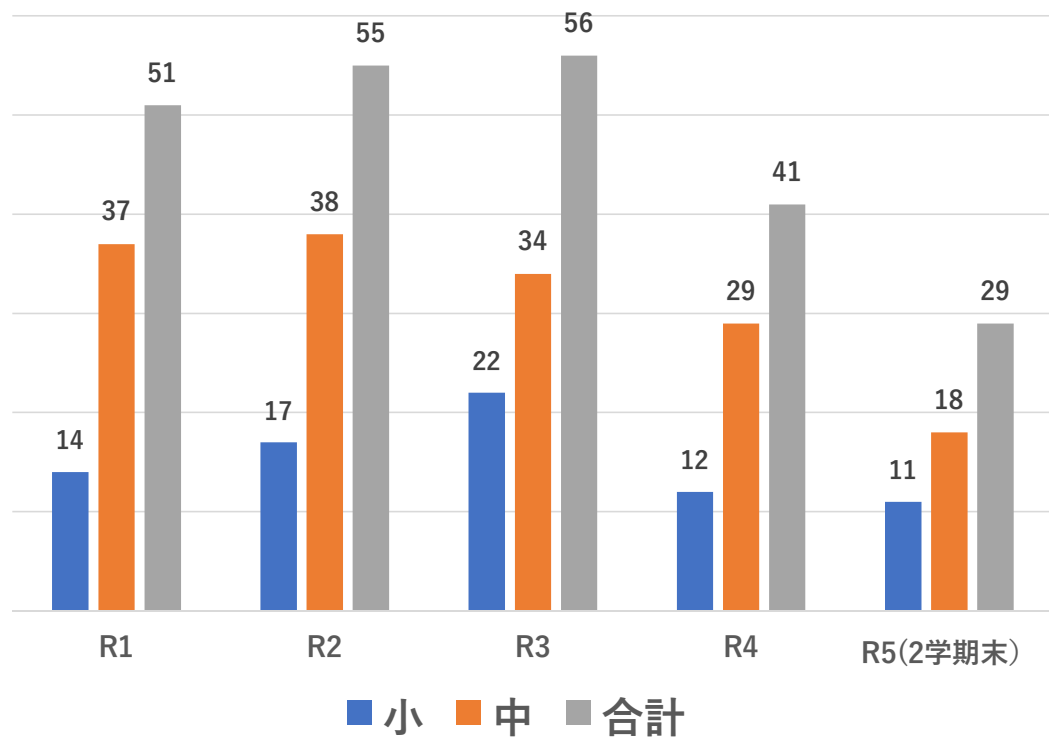


サポートルーム⇔学級
リモートでの授業参加

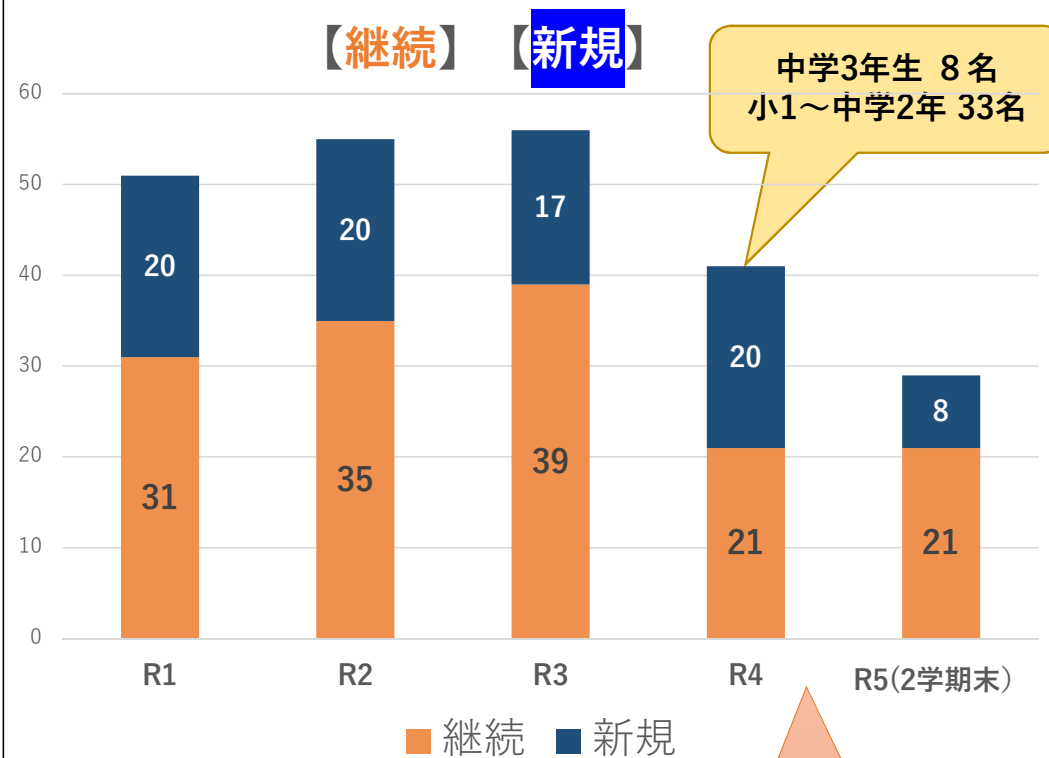


不登校児童生徒数の推移

香美市小・中学校不登校児童生徒数推移



香美市小・中不登校児童生徒数推移



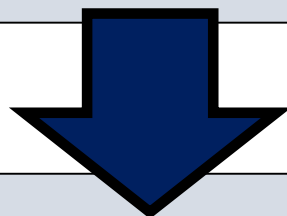
- ◆令和4年度に引き続き不登校児童生徒数は減少傾向
- ◆新規の不登校児童生徒数も昨年度の半分以下

★サポートルーム
運営開始
★チャレンジ登校
(教育支援センター)

令和5年度の取組成果と課題について

令和4年度末の状況

○不登校児童生徒数	41人
○新規不登校児童生徒数	20人



令和5年度12月末の状況

○不登校児童生徒数	29人（目標35人以下）
○新規不登校児童生徒数	8人（目標5人以下）

不登校児童生徒数としては、現段階では目標の人数以下となっているが、新規不登校児童生徒数はまだ目標には達していない。
引き続き、小中一貫教育による魅力ある学校づくりとして安心できる居場所づくり、多様な絆づくりに取り組んでいく。